

古文文法識別一覧

単語	例文	構造	訳とポイント
【なむ】	① 死なむ	ナ変未+推量	死ぬ、往ぬ、去ぬのみ
	② 降りなむ	連用+完了(強意)+推量	きっと降るだろう
	③ 降らなむ	未然+願望の終助詞	降ってほしい
	④ 花なむ咲ける	係助詞	省略できる。語尾は連体
【に】	① 咲きにけり	連用+完了	咲いてしまった
	② 人にかあらん	体言+断定	人であろうか
	③ 紙に書きつく	体言+格助詞	紙に書き付ける書き付ける
	④ すべきにや	連体+断定	すべきであるか
	⑤ 言うに従いて	連体+格助詞	言うことにしたがって
	⑥ 嘆くに	連体+接続助詞	嘆いていると、
	⑦ 静かに	形容動詞	たいへん〇
	⑧ つひに	副詞	たいへん×
	⑨ 走りに走る	例外:連用+格助詞+同じ動作	どンドン走る
【なり】	① 継母なる人	体言+断定	継母である人
	② べきなり	連体+断定	べきである
	③ 声すなり	終止+伝聞推定	声がするらしい
	④ 必ず行くなり	終・体+断定	主張・目撃は断定
	⑤ 極楽に行くなり	終・体+伝聞推定	耳情報・推測は伝聞推定
	⑥ 静かなり	形容動詞	たいへん〇
	⑦ 苦しくなりぬ	形容詞+動詞	苦しくなってしまった
【ぬ】	① 散らぬよう	未然+打消	「ず」で確認
	② 散りぬ	連用+完了	「たり」で確認
	③ 夜明けぬ先	打消連体+体言	明けなうちに
	④ 夜明けぬ。	完了終止+	明けてしまった
【ね】	① 浪立たねども	未然+打消	「ず」で確認
	② 浪立ちね	連用+完了	「たり」で確認
	③ 水こそ流れね	係助詞+打消已然	水が流れない流れない
	④ 水流れね。	完了命令+	水よ、流れてしまえ
【る】	① 泣かる	未然a音+受尊可自	思わず泣く
	② 花ぞ咲ける	未然e音+完了	花が咲いている
	③ 泣かる。	受尊可自+	終止形
	④ 花ぞ咲ける。	係助詞+完了連体	連体形
【れ】	① 死なれけり	未然a音+受尊可自	しなれてしまった
	② 立てれども	未然e音+完了	立っているけれども
	③ 死なれけり。	受尊可自の連用	けりが連用接続
	④ 立てれども	完了已然	どもが已然接続
【らむ】	① 降らむ	未然語尾+推量	降るだろう/未然是「ず」で確認
	② 降るらむ	終・ラ体+現在推量	降っているだろう/u音+らむ は現在推量
	③ 降れらむ	サ未・四已+完了+推量	降っていたらう/e音+ら+む は完了+推量
【し】	① 騒がしうしける人々	サ変	騒がしくした人々/「する」と訳せる
	② 散りし花	過去連体+体言	散った花
	③ 知らぬ世のことにしあれば	副助詞	省略でも意味通じる
	④ 今日しも端におはします	副助詞+係助詞	今日は端にいらっしゃる(強意)
【べし】	① 空をも飛ぶべからず	まず「可能」をチェック	飛ぶことができない
	② この一矢に定べしを思へ	主張なので「意思」	この一矢で決めようと思いなさい
	③ 人食う犬飼うべからず	危険行為なので「命令」	飼わないようにしなさい
	④ 死を憎まば、生を愛すべし	常識・心理なので「当然」	死を憎むのなら生を愛さなければならない
	⑤ 風も吹きぬべし	弱い意味なら「推量」	風もきっと吹くだろう
	⑥ 返りごといかがすべからぬ	比較してよい方を選択なら「適当」	返事をどうするのがよいだろうか
【む・むず】	① 心あらむ人に見せばや	婉曲連体+体言	風流心のあるような人に見せたい
	②	婉曲以外は「べし」と同じ手順	「む・むず」は「べし」の6つの意味+婉曲
【る・らる】	① 寝たる足を狐に食わる	省くと変なら「受身」	寝ている足を狐に食べられる
	② ものも言われず	直後に打消なら「可能」	ものも言うことができない
	③ 限りなく思い出でらる	直前に無意識の動作なら「自発」	この上なくふと思い出す
敬語	地の文=作者から	尊敬=動作の主体、謙譲=動作の客体、丁寧=聞き手への経緯	
	会話文=話し手から	尊敬=動作の主体、謙譲=動作の客体、丁寧=聞き手への経緯	
侍り	(本)謙譲=お仕えする、お控えする 丁寧=あります、ございます(補)丁寧=です、ます、ございます		
候ふ	(本)謙譲=お仕えする、お控えする 謙譲=参上する 丁寧=あります (補)丁寧=です、ます、ございます		
奉る	(本)謙譲=差し上げる 尊敬=召し上げる、お召しになる、お乗りになる (補)謙譲=お~申し上げる		
聞こゆ	(本)謙譲=申し上げる (補)謙譲=お~申し上げる		

